

目標5 子どもが安全安心に暮らせるまちをつくる

施策（15）子どもの安全を守る環境整備 ～子どもにやさしいまちづくり～

1 現状・課題及び方向性

<現状・課題>

- 安心して暮らせること、安全に活動できることは、子育てしやすいまちづくりを進めるうえで、欠くことのできない重要な要素であるとともに、他の施策を支える基盤となるものでもあります。

「安全・安心なまち」であるかを判断する材料としては、安全なインフラ、安全対策に取り組む公的機関への評価・信頼度、地域コミュニティのつながり度合などが考えられます。

また、各家庭の生活の拠点となる住環境についても、充実を求める声があります。
(※1)

- 子どもの視点から考えると、外出時に「危ない」と思ったことのある子（34%）のうち、「車が通ったとき」が31%で最も多く、次いで「公園で遊んでいるとき」（14%）、「道を歩いているとき」（13%）となっています。(※2)

子どもの安全対策を進めるにあたっては、通学路を含めた道路環境や公園など公共スペースの安全対策に力を入れていくことが求められています。

- 気候変動がもたらす異常気象等により、自然災害が頻発しています。こうした災害時には、人々は一瞬にして日常を奪われることとなります。大人でさえ自分のことで手一杯になってしまいがちな状況の中、子どもたちが抱える不安の大きさは想像に難くありません。災害時の子どもやその家族に対する支援の充実が必要です。

<方向性>

- 犯罪や交通事故などから子どもを守るため、引き続き道路や防犯灯などのハード面の整備を行っていくとともに、地域の見守りなどの人材の確保に取り組み、関係団体・機関と連携しながら、継続して安全・安心な環境づくりを進めていきます。
- 子育て世帯に良質な住宅を提供し、市内全体で子どもを生み育てやすい環境づくりを進めます。
- 災害が発生したときでも、妊娠中の女性等を含め、子どもたちやその家族が安全な住環境・生活環境の中で安心して過ごすことができるよう、支援体制の整備を進め、充実を図っていきます。

- ※1 「力を入れてほしい子育て支援策」として、「公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮」を選択した割合が約1割となっている。
 (北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成30年度))
- ※2 放課後児童クラブに通う子どもへのアンケート(平成30年度)
 (「元気発進!子どもプラン(第2次計画)」補足的調査)

2 施策の柱

①	<p>子育てにやさしい都市・住環境の整備</p> <p>子育て家庭が安全に安心して利用できる道路や施設などの都市環境整備を進める。また、子育て家庭向けの良質な賃貸住宅の提供や、市営住宅における多子世帯や母子・父子世帯への優先入居など、安全で快適な住宅を確保するとともに、家庭内事故防止のための啓発など、子どもが生き育てやすい住環境づくりを進める。</p>
②	<p>安全・安心を実感できる防犯・防災のまちづくり</p> <p>北九州市安全・安心条例等に基づき、市民等の安全・安心に関する意識の高揚を図るとともに、地域における自主的な防犯・防災活動への参加を促進する。「地域安全マップづくり」や「子ども防犯セミナー」等を開催し、子どもの防犯意識や知識の向上を図るなど、子どもに配慮した取り組みを推進する。</p> <p>交通事故防止のための運動や啓発などを行い、交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指す。</p>

3 成果指標

子育て世帯における誘導居住面積水準達成率 (北九州市住生活基本計画(第2期)指標)	【増加】
市民が感じる治安状況(体感治安)	【増加】
刑法犯認知件数	【減少】
子どもと外出時に安心と感じる割合	【増加】
交通事故発生件数(暦年)	【減少】

4 施策を推進する主な取り組み

柱① 子育てにやさしい都市・住環境の整備

No	取り組み名 担当課	概要
187	バリアフリーのまちづくりの推進 建設局・道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、道路・公園のバリアフリー化を行い、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。
188	安全で歩行者等にもやさしい道路整備 建設局・道路計画課	市民生活に密着する生活道路において、地域の要望などを聞きながら、歩道や側溝などの修繕、防護柵の設置等を行い、歩行空間の安全性や快適性、利便性の向上を図る。
189	家庭内事故防止のためのPR 子ども家庭局・総務企画課	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や事故の予防方法を紹介する。
190 ⑧	子育て世帯を対象とする家賃割引制度等（北九州市住宅供給公社） 建築都市局・住宅計画課	北九州市住宅供給公社の賃貸住宅を活用し、子育て世帯支援のための「子育て世帯を対象とする家賃割引制度」や「親族間の近居促進のための家賃割引制度」などを実施する。
191	多子世帯向け市営住宅への優先入居 建築都市局・住宅計画課	多子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、多子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行う。
192	母子・父子世帯向け市営住宅への優先入居 建築都市局・住宅計画課	母子・父子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、母子・父子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行う。
193	住むなら北九州定住・移住推進の取り組み 建築都市局・住宅計画課	本市への定住・移住を強力に推進するため、市外から移住する子育て世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助する。

柱② 安全・安心を実感できる防犯・防災のまちづくり

No	取り組み名 担当課	概要
194	明るく安全なまちづくり街灯整備事業 建設局・道路維持課	「街をもっと明るく」という市民要望を受け、夜間の交通安全性の向上を目的に、道路照明灯と防犯灯の中間的な街路灯の整備を実施する。
195	交通安全の推進 市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課	生涯にわたる交通安全教育および効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図る。また、自転車利用のルール周知とマナー向上啓発のため自転車交通ルール検定を実施することで、自転車による交通事故の発生を抑止する。
196	未就学児の安全・安心対策 子ども家庭局・保育課、幼稚園・こども園課	子どもが地域の中で人や自然に触れ、豊かな生活経験を得るために、道路、公園等での安全や防犯対策を関係機関と連携しながら推進する。
197	通学路の安全対策 建設局・道路計画課	登下校中の児童が、安全に安心して通学できる環境を整えるため、さらなる通学路の安全対策を推進する。
198	地域安全マップづくり 市民文化スポーツ局・安全・安心推進課	市内小学校において、小学生が自分たちの校区を歩き、危険な場所・安全な場所を見つけ、地図にまとめる「地域安全マップづくり」を通じて、防犯意識や危険回避能力の向上を図る。
199	生活安全パトロール隊の支援 市民文化スポーツ局・安全・安心推進課	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」への人的・物的支援等を通じて、地域の自主防犯活動の活発化を図る。
200	子ども防犯セミナーの開催 市民文化スポーツ局・安全・安心推進課	市内の小中学生を対象とした「体験型」のセミナーを開催することによって、子どもの危機回避能力の向上を図る。
201	ガーディアン・エンジェルスセイフティ・センター運営支援事業 市民文化スポーツ局・安全・安心推進課	繁華街の防犯パトロールや非行防止活動等に取り組む「NPO法人日本ガーディアン・エンジェルス北九州支部」の活動を支援することにより、地域安全の向上を図る。

202	児童見守り消防隊 <small>消防局・消防団・市民防災課</small>	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、教育委員会及び各関係機関と連携し、地域における安全確保のため「児童見守りパトロール」を実施する。
203	「消防士さんといっしょ」事業 <small>消防局・予防課</small>	消防職員が小学校に出向き、社会科教育の一環である「消防のしごと」の授業を行うことにより、児童への防火・防災教育の充実を図る。
204	防災・減災教育の推進 <small>教育委員会・指導第二課</small>	児童・生徒が、日常生活の安全確保のために必要な事項を実践的に理解するとともに、自他の生命尊重を基盤として進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質や能力を培うため、学校において支援や指導などの取り組みを推進する。
205 ㊦	大規模災害に備えた備蓄整備 <small>危機管理室・危機管理課</small>	大規模災害に備えるため、想定避難者の食糧及び飲料水等に加え、乳幼児等の要配慮者に配慮した物資を備蓄している。また、災害発生時の避難所の開設では、授乳等子育て家庭に配慮したスペースを確保するなどの整備を図っていく。
206 ㊦	妊産婦・乳児避難所の設置 <small>子ども家庭局・総務企画課</small>	大雨等の災害時に通常の予定避難所で受け入れ困難な妊産婦等を受け入れるため、市内東西の子育て支援施設（東部：子育てふれあい交流プラザ、西部：子どもの館）に「妊産婦・乳児避難所」を必要に応じて開設する。

(参考データ)

○ 子育て世帯における誘導居住面積水準達成率

平成25年度
38.0%

資料：住宅・土地統計調査（総務省）

注：誘導居住面積水準とは、世帯人数に応じて、豊かな住生活の実現の前提として多様なライフスタイルに対応するために必要と考えられる住宅の面積に関する水準

○ 刑法犯認知件数（成人を含む）

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
北九州市	11,267件	9,682件	8,124	7,570件	6,504件
全国	1,212,163件	1,098,969件	996,120件	915,042件	817,338件

資料：福岡県警察データより集計

注：刑法犯認知件数は、年度ではなく年で算定している

○ 交通事故発生件数（成人を含む）

区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
北九州市	8,325件	8,075件	7,729件	7,001件	6,649件
全国	573,842件	536,899件	499,201件	472,165件	430,601件

資料：警察統計による集計

○ 子どもと外出時に安心と感じる割合

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
40.5%	39.4%	42.2%	45.0%

資料：「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」に関する市民アンケート調査（平成27～30年度）

○ 外で遊んだりしていて、「危ない」と思ったことがある子どものその内容

区分	平成29年度 回答者数 181人	平成30年度 回答者数 176人
車が通ったとき	20.4%	18.6%
公園で遊んでいるとき	9.4%	8.7%
道を歩いているとき	8.3%	7.8%
知らない人に見られるなどしたとき	6.6%	10.4%
自転車に乗っているとき	7.7%	11.7%
その他	2.8%	3.0%
無回答	44.8%	39.8%

資料：「元気発進！子どもプラン(第2次計画)」に関する補足的調査

生活や放課後児童クラブについての小学生アンケート（平成29～30年度）

○ 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策のうち、施策（15）関係（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前児童 回答者数 H25:1,453人 H30:1,559人	子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等	52.2%	55.4%
	子育て家庭が外出した際に困らない環境づくり（段差、トイレ、授乳、オムツ替の場所等） ※H25:子育て家庭が外出した際に困らない、道路などの都市整備	31.9%	53.2%
	公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮	12.5%	10.1%
小学生 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	62.4%	59.5%
	公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮	9.2%	6.2%
中学・高校生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	41.6%	38.4%
	公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮	11.8%	9.3%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：複数回答

○ 子どもが希望する子育て支援策（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
小学生 回答者数 H25:692人 H30:742人	いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	54.6%	56.1%
	安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備	34.1%	31.8%
中学・高校生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	33.6%	29.9%
	安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備	33.0%	30.4%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：複数回答